

ワークショップ

第11回エネルギー管理アクションネットワーク (EMAK11) ワークショップを シンガポールにて開催

【事業概要】

2023年2月9日、第11回エネルギー管理アクションネットワーク (EMAK11) ワークショップがシンガポールで開催されました。

EMAKは、2009年の設立以来日本が主導し、現在はIEA省エネハブのタスクグループの一つとして、省エネルギー政策に関する情報共有・交換と官民のネットワーク構築に向けた取組を実施しています。

本ワークショップは、「Transitions towards Net-Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディングへの移行)」をテーマとして、建築物分野における省エネルギー関連の政策や、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの建設・改修の段階的アプローチを含む現実的な省エネ建築物に関するベストプラクティスに焦点を当て、官民からの参加者にネットワークの機会を提供することを目的として実施されました。

当日は、シンガポールや日本に加えて、ASEAN、マレーシア、カナダ、豪州、中国、ドイツから発表が行われました。在シンガポール日本国大使館一等書記官 中西卓也氏、シンガポール日本商工会議所建設・不動産部会部会長 谷内康弘氏、JETROシンガポール事務所次長 大山賢氏をゲストに迎え、オンラインおよび会場で約100名の参加者が集まりました。



シンガポール会場でのフォトセッション(発表者、ゲスト、モデレータ)

ワークショップの冒頭、省エネハブのKristina Klimovich氏と経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部国際室長の星野昌志氏による開会挨拶に続き、シンガポールのClayton Carl Miller助教授と日本の一ノ瀬雅之准教授から基調講演が行われました。

セッション1では、「持続可能でエネルギー効率の高いビルのための効果的な政策パッケージ - ネットゼロエネルギービルへの道 -」と題し、日本、カナダ、ASEAN、豪州から効果的な政策パッケージについて発表が行われました。

セッション2は、「建築物分野のネット・ゼロ・カーボン目標に向けたベスト・プラクティス」と題し、シンガポール、マレーシア、中国、日本、ドイツから、現実的なエネルギー効率の高い建築物のためのベストプラクティスについて発表がありました。

セッション3は、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディングの実現に向けたEE&Cの推進」と題したパネルディスカッションを行いました。

ワークショップの最後に、シンガポール・エネルギー市場庁のJonathan Goh氏と経済産業省の星野昌志氏が閉会の辞を述べました。

質疑応答も活発に行われ、建築物分野における省エネルギーの実現方法に関する知識や経験が共有されるとともに、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルに関する官民のネットワーク構築が進み、本ワークショップは成功裏に終了しました。



Ms. Kristina Klimovichの開会挨拶



質疑応答セッション



パネルディスカッション



ネットワーク構築